

目標達成計画

事業所：グループホーム えみな

作成日：平成26年 4月 22日

市町村受理日：平成26年 4月 24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義を、職員全員で再確認しながら日々の支援に活かされるよう、取り組みが期待されます。重要事項説明書の記載補充及び利用者、家族、職員など全てが目につきやすい掲示方法の改善に向けた取り組みに期待されます。	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげていく。	廊下の掲示方法を大きくわかりやすく、ご家族来訪時なども目につきやすいものとする。 職員全体のミーティング等で理念に基づいた話し合いを行う場面を作る。	実行中
2	3	会議に魅力あるテーマを取り上げるなどしていますが、地域に密着して開かれる会議を目指すため、遠隔地の同系ホームでの合同開催については早急かつ確実に改善が必要と思慮します。また、議事録の記載方法にも改善の取り組みが期待されます。	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在もテーマによって各事業所ごとで行っているが、講師をお呼びしての会議の場合は合同にすることがあり、これらのことは事前に市役所、地域包括支援センターへお話しさせていただきご了承の基行っており、今後は遠隔地で行う際、町内会員様への呼びかけ等の工夫を行い参加を呼び掛ける。	3か月
3	10	日々の記録は、バイタルに止まらずケアプランが目指すサービスの記録が望まれます。タクティールケア(寄り添い触れ合うこと)でどのような仕草が得られたかなど、ケアプランに連動した記載が望まれ、このことがプランの見直しに役立つものと思慮し、記載方法の改善取り組みに期待します	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランを基にしており、ミーティング、引き継ぎなどの場面で、しっかりとケアプランを意識しながら、引き継ぎ内容を職員間で話し合う事を目標とし、今後、書式の見直しも検討していく。	実行中
4	15	利用者と職員と一緒に会話を交えて食事をすることが望まれますが、介護支援が増えているため出来ていません。「嗜好調査」の実施で調理の参考にしていますが、検食がないため実際の味覚を知り得ず、職員による検食への対応が期待されます。	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者への安全な食事と介助を第一に考え、その上で職員も一緒に食事がとれるよう、休憩時間の検討や食事会などの企画を交えながら、楽しい食事の場面を増やす。また、検食を行う。	実行中
5	19	快適な共用空間の維持には第一に清潔さが求められます。トイレ、廊下、浴室の隅々まで気配りの掃除が大きく望まれ対応が期待されます。	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	評価員の方には、建物の古さを数回お話し頂いたが、様々な事情もあり、すぐに建て替えなどはできないこともあるため、日常的に建物内・外の清掃は、気づいた時にすぐに行う。	実行中

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

6	20	安心の居場所としての居室は、常に清潔であり快適さが要求されます。清掃を含めた環境の改善への取り組みが強く望まれます。	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来る方とは一緒に掃除等を行い、本人の意思も聞き取りながら行う。また、職員は毎日の掃除を徹底して行う。	実行中

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。
注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。

